

NKE

後付け簡単  
IoT端末現場要求に即す省配線機器提案  
設備の予知保全用途で

NKE(社長■中村道一氏、本社・京都市伏見区羽束師菱川366-1)は空調設備を含む設備機器の保守管理用途で、省配線機器「ユニライン」を提案している。同機器はコントローラーに左右されない独自のシステムであるため、現場

ニーズに即した省配線システムを柔軟に構築できる。他方、既存設備への後付けで簡単にIoT(モノのインターネット)による状態監視を可能にする簡易情報連絡端末「れんら君」も同社は訴求。特に既設の故障やトラブル発生の予兆を察

知し、設備管理者へ事前に伝える予知保全用途の需要を見込んでいる。「ユニライン」は配線の制御・制約がなく、自由度・耐ノイズ性を徹底的に追求した現場志向のシステムを構成する際に役立つ。プログラマブル

御機器による制御システムの省配線化が可能。IoTネットワーク領域の省配線システムとして多くの実績を有する。最近では、デマンドカットコントローラーをシステムアップする際に利便性の高い機器として「ユニライン」を提案する機会があるという。営業部営業支援グループの岡友也氏は「ユニライン」をご活用頂くことで、例えば電力使用状況がデマンド値を超えそうな場合に、

空調設備や電気設備の稼働を抑制したり、停止したりさせる制御を加えることができる」と話す。他方、「れんら君」を活用した設備の保守管理では、数あるラインアップの中で「汎用れんら君」と漏水検知センサーを接続することで、安価で容易に漏水検知システムを構築できる。装置や配管からの漏水、漏液を検知し、電子メールによる自動通知を発する機能を有しており、漏水や液漏れが想定される様々なシーンに対応することが可能になるという。これらの「れんら君」とセンサーを組み合わせ、パッケージ商品としては、温湿度センサーと組み合わせた「温度・湿度パック」、電流検知センサーやリードスイッチと組み合わせさせた「稼働監視パック」、振動センサーと組み合わせさせた「振動パック」などを同社は商品化している。